

沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価

平成30年7月31日
沖縄県立図書館協議会

【評価】

平成29年度の県立図書館の運営について、「基本指標」のうちレファレンス件数を除けば概ね目標は達成している。

レファレンス件数は目標件数を大分下回ってはいるが、県立図書館で実施している「沖縄県系移民一世ルーツ調査」が「情報の調査・相談に当たる図書館のレファレンスサービスを顕彰する2017年度『地方創出レファレンス大賞』」において、文部科学大臣賞に選ばれるなど数字には表れていないが、県立図書館の役割を達成したひとつとして評価できる。

広域型図書館において、離島・本島間図書館相互貸借促進事業として、現在、宮古・多良間・石垣と本島(那覇市、浦添市、宜野湾市、琉球大学)間で行っているが、予算的な課題はあるかと思うが、拡充する方向で検討して欲しい。

課題解決型図書館において、沖縄県図書館協会主催研修会の参加人数が目標値より大分低いことに対して、関係機関への連絡が遅いことや周知の仕方に問題があることから参加したくてもできない者がいる。講演会等における講演者の選定等に時間を要することもあると思うが、関係者への周知を早めに行うとともに、周知の方法について改める必要がある。

県立図書館では様々な取組を行っているが、現在の評価指標のなかには、それが数値に反映されないものや、市町村との連携においては県立図書館だけの努力では達成が難しいものがある。

12月には那覇バスターミナル跡地の複合施設に、旧館より規模が2倍、収蔵能力が3倍となる新しい図書館が開館する予定で県民が期待しているなかで、今後、評価指標の見直しを行うにあたっては、図書館の取組に対するメディアでの報道の件数や市町村からの要望に対する取組の結果など、さまざまな方面から検討していくことが必要と考える。

[項目別達成度評価]

1 基本指標

番号	提言事項	具体的な指標	評価	基本方針評価	
					評価
1	県民の知識要求に対応できるような確かな資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図る。	・入館者数	3	・新館開館に向けた資料購入の予算措置を図り、様々なジャンルの蔵書冊数を増やしたこともあり、蔵書冊数及び貸出冊数は目標値を上回った。 ・レファレンス件数は目標値を大分下回ったことから、利用者のニーズの把握に努め利用促進を図る必要がある。	2.5
2		・蔵書冊数	3		
3		・貸出冊数	3		
4		・レファレンス件数	1		

2 個別指標

(1) 広域型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	WEBサイトの充実	ア	レファレンス事例の発信	・レファレンス事例のデータベースへの掲載件数	3	・レファレンス事例のデータベースへの掲載件数は目標値を若干下回った。 ・H27年度から新たに開始したTwitterのフォロワー数及びHPアクセス件数へ改正した。 ・目標値は若干下回ったがHPアクセス、Twitterのフォロワー数ともに前年度実績を上回っていることから、今後も情報発信を充実させていきたい。	3.0	・相互貸借で目標値を若干下回ったが、2つの努力点とも概ね目標値を達成した。 ・WEBサイト等については、こまめに情報更新を行うよう努めており、今後も様々な情報を積極的に発信し、図書館事業の周知に活用していきたい。 ・離島等の住民が、各市町村教育委員会を通じて県立図書館の図書を利用できる協力貸出事業を継続・充実を図りながら、今後も図書館未設置町村や必要な施設等への読書活動への支援をより充実させていきたい。	2.9
			オ	高度なアクセシビリティの確保(利便性の確保)	・沖縄県立図書館HPアクセス件数及びTwitterフォロワー件数				
②	市町村立図書館を通じたサービスの提供	ア	市町村立図書館への資料配送及び市町村立図書館間の相互貸借を支援する物流システムの構築	・市町村巡回車運搬冊数(取扱い冊数)	2	・市町村巡回車運搬冊数は目標値に達しなかったものの、約15,000冊の実績から利用者が相互貸借を順調に利用していると思われる。 ・各学校、公民館など従来の利用団体だけでなく、子どもの居場所づくり団体等への周知を図るなど利用機会を拡げたことから、一括貸出冊数は、目標値を達成することができた。 ・館外用図書の充実を図ったこともあり、貸出冊数が伸び、目標を達成した。	2.7	・移動図書館については、本の貸出だけでなく、読み聞かせや様々な講演会、科学に関する子ども向けワークショップ等も併せて行うことで本に親しむ機会を増やしていきたい	
				・一括貸出冊数	3				
			・移動図書館貸出冊数(開催回数)	3					

(2)課題解決型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
						評価	評価	評価	評価
①	市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援	ア	市町村立図書館の職員を対象にした研修計画の策定と実施	・市町村立図書館職員を対象にした研修会開催回数	2	・H28年度に研修開催回数を6回から9回に見直したが、前年度と同様、目標値を達成できなかった。	2.0	・全体的に目標値を下回ったが、子ども読書活動推進室の利用回数が増加傾向にあること、沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数が前年度を大幅に改善できたことは評価できる。	2.0
				・沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数	2	・目標値の達成にはならなかったが、昨年度実績(255→350)より大幅に改善が図られた。			
		コ	沖縄県図書館協会等との連携・協力	・沖縄県図書館協会主催講演会及び研修会への参加人数	1	・前年度と同様に講演会1回、研修会2回実施しているが、目標値、前年度実績を下回った。目標値を達成に向け、内容を充実させていくよう努める。			

(3)琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
						評価	評価	評価	評価
①	郷土資料コレクションの形成	-	-	・郷土資料の受入冊数	4	・小中高校等が発行している周年記念誌等を積極的に収集するなど、目標値を達成することができた。	4.0	・郷土資料の受入れについては、県立高等学校長会や那覇教育事務所管内小中学校長会等へ周年記念誌の寄贈依頼を行った。	4.2
		イ	貴重資料保存計画(状態調査・修復・保存措置・複製)の策定	・修復点数	5				
				・複製本作成冊数	5				

(4)電子図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
						評価	評価	評価	評価
①	付加価値の高い情報発信	ア	デジタルコンテンツの作成・発信	・デジタル郷土資料の解説点数	3	・デジタル郷土資料の解説点数については、目標値を達成できなかったが、実績値は前年度と比較すると上回っている。	3.0	2つの努力点とも目標を達成できなかったが、図書館ホームページは、アクセス数も増えており、今後も電子図書館としての機能の充実を図ってきたい。	3.0

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> 基本指標については、蔵書冊数や貸出冊数は目標値を達成したが、入館者数、レファレンス件数が目標値・前年度実績値を下回っており、今後は利用者ニーズの把握に努め、県内の中核図書館としての役割を果たしていく必要がある。 離島や図書館未設置町村などに対し、移動図書館や協力貸出、一括貸出を活用した読書機会の提供を図るとともに、読み聞かせ等も併せて実施することにより読書活動の普及啓発を図ることができた。今後は学校含め必要とする施設への支援充実を図っていく。 今後は関係機関、他団体等との連携を充実させ、館外サービスや館内イベントの充実に向け県立図書館としての機能、役割について広く県民に周知させたい。 郷土資料コレクションについては、劣化度調査を踏まえ今後必要な対策を講じるとともに、収集方法の工夫等も併せてを行う。 	3.0